

評価問題例

② 子どもが いえで あそんでいました。
そのうち 11人がかえたので、5人になりました。
はじめは なん人いましたか。

下の□の中に、ブロックをならべて 考えよう。

しき)

こたえ.

評価問題のポイント

上の問題は、ブロックを操作すると分かりやすい。

分かっていること、たずねられていることを整理した上で、ブロック操作を行い、式を立て、答えを出すようにする。その際、ブロックを一行に並べるという操作を通して数量関係をとらえさせ、次時のテープ学習へとつなげていく。

自分の考えを相手に分かりやすく説明できるようにさせたい。そのため、友達や自分の考えを伝え合う力だけでなく、振り返りを行うことで理解力も伸ばしていきたい。

板書例

かくれた数はいくつ
めあて ブロックをならべてかんがえよう。

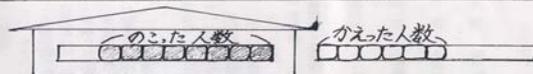
□ 子どもが いえで あそんでいました。
そのうち 6人がかえたので、8人になりました。
はじめは なん人いましたか。

わかっていること

- 6人がかえた
- 8人になった

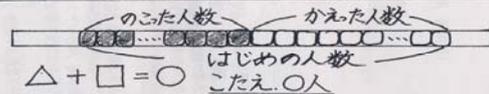
たずねられていること

- はじめはなん人が



$8 + 6 = 14$ こたえ. 14人

② 子どもが いえで あそんでいました。
そのうち □人がかえたので、△人になりました。
はじめは なん人いましたか。



$\Delta + \square = \bigcirc$ こたえ. 〇人

授業風景、教具



HOME

単元の流れへ

本時の流れへ

授業展開例へ